

船橋市の現状と行財政改革



令和元年8月31日(土)

船橋市企画財政部

行政経営課長 森 昌春

そもそも「行革」ってなんだろう・・・？

行革（＝行財政改革）とは、様々な課題を解決していくために、

これまでのやり方や考え方を変えていくこと です



船橋市は比較的豊かに思えるけど、
なぜ行革に取り組む必要があるの？

まずは、
「今後の船橋市」 がどうなっていくのか
を見てみましょう

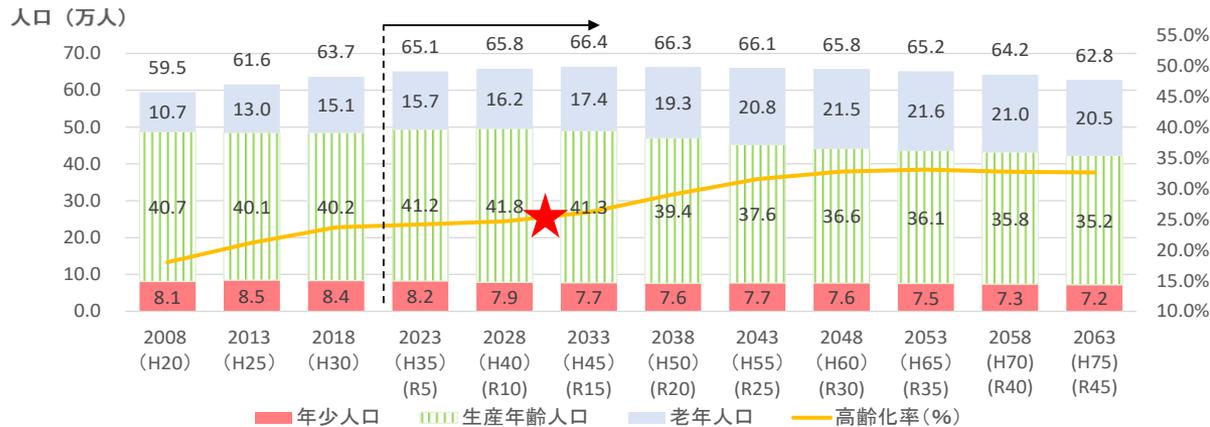


今後の船橋市 ①

全国の自治体と同様に

少子高齢化がますます進行していきます

【年齢3区分別人口の将来推計】



近い将来、市民の4人に1人が65歳以上になるんだね。(★)



少子化が進むと…

働く世代の人口減少により
市税収入が減少します

高齢化が進むと…

介護や医療等の
社会保障経費が増加します

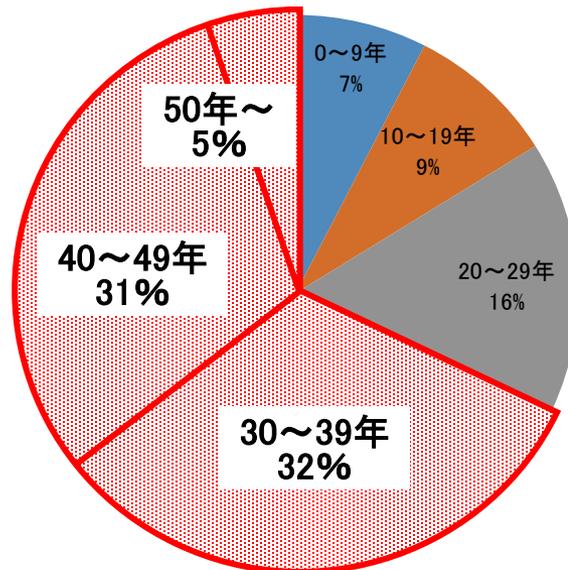


今後の船橋市 ②

人口急増期に整備した

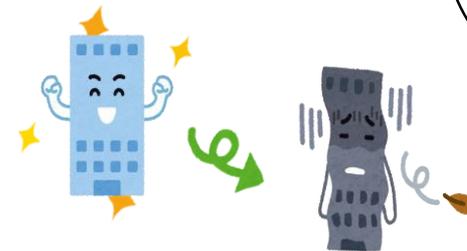
公共施設が次々と老朽化していきます

【経過年別面積割合】



約70%が
築後30年以上
経過！

人口の増加に合わせて整備した学校などが一斉に老朽化していきんだね。



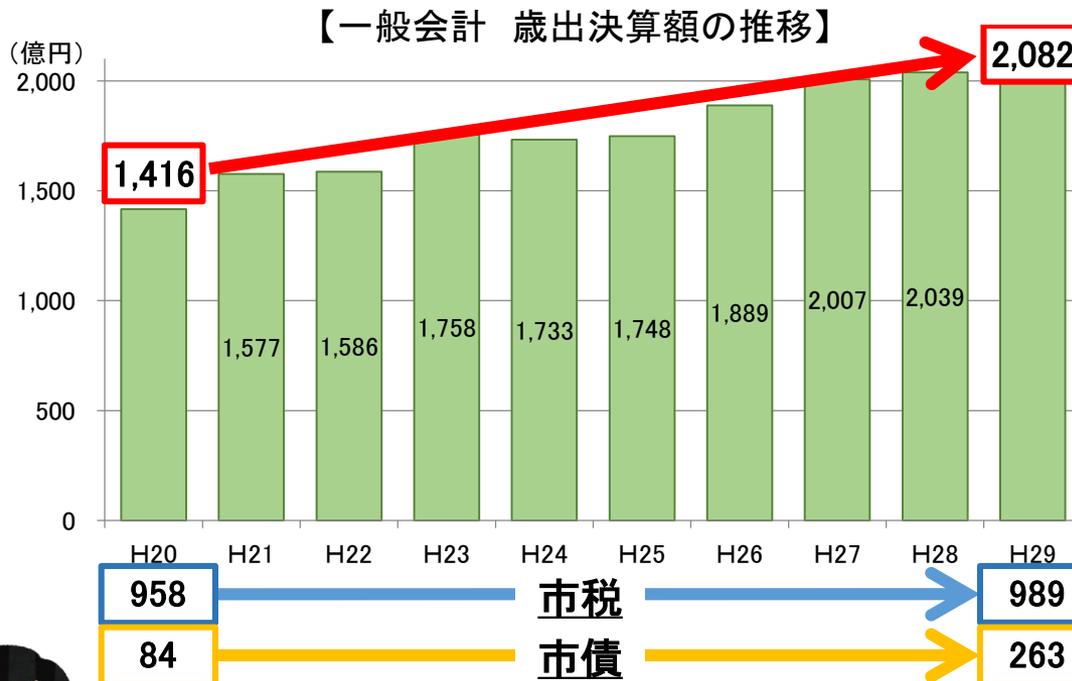
たくさん課題がありそうだけど

市の家計の状況 はどうなの？

船橋市の家計の状況 ①

近年（直近10年間）は人口の増加とともに

家計の規模も拡大し続けてきました



特に平成23年の東日本大震災以降は、小中学校の耐震化や、清掃工場の建て替えにより、規模が拡大しているね。



家計の規模は直近10年間で

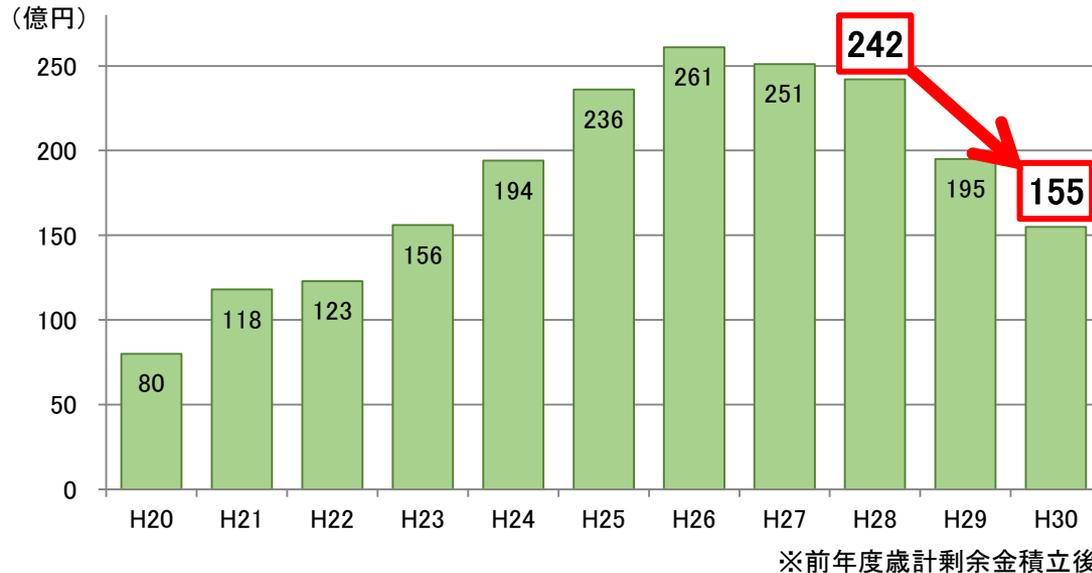
600億円以上も増加 しています

船橋市の家計の状況 ②

収入の伸びが追いついていないため

貯金を取り崩すことで 増加する市民ニーズに対応しています

【財源調整基金(市の貯金)の推移】



2年間で
87億円
の減少!



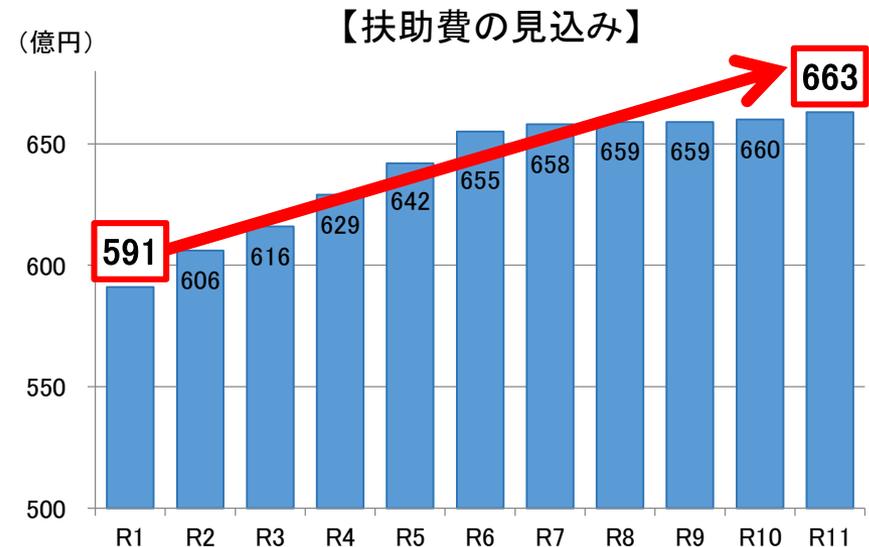
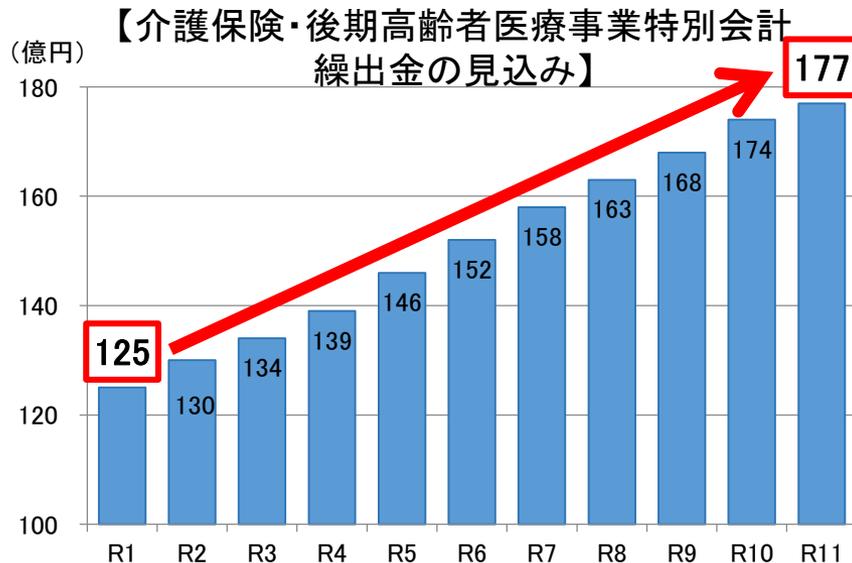
貯金を取り崩している状況で

今後の市の家計 はどうなるの？

今後の船橋市の家計 ①

少子高齢化等により

社会保障経費はますます増加 していきます



これらは、市の家計の中でも

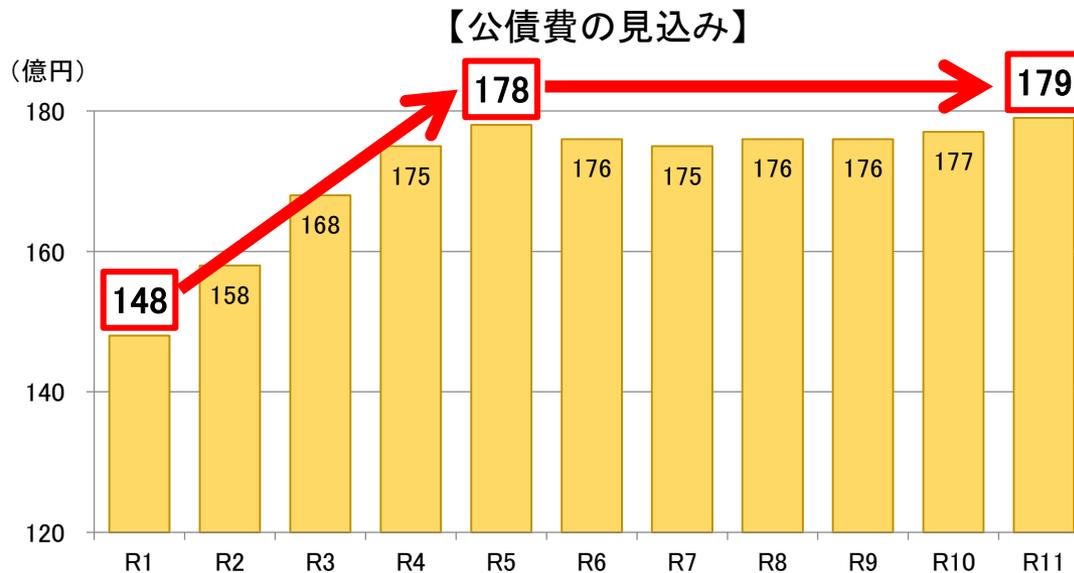
義務的に発生する経費 で、

削減することが難しい経費です

今後の船橋市の家計 ②

施設の耐震化工事等のために借りたお金の

返済額が大きく増加 していきます



なぜお金を借りるの？

学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の家計で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに利用できることとなります。

そこで、お金を借りて、何年にもわたり返済することで、**整備費用を公平に負担**してもらうことができます。



返済額が大きく増加した後、

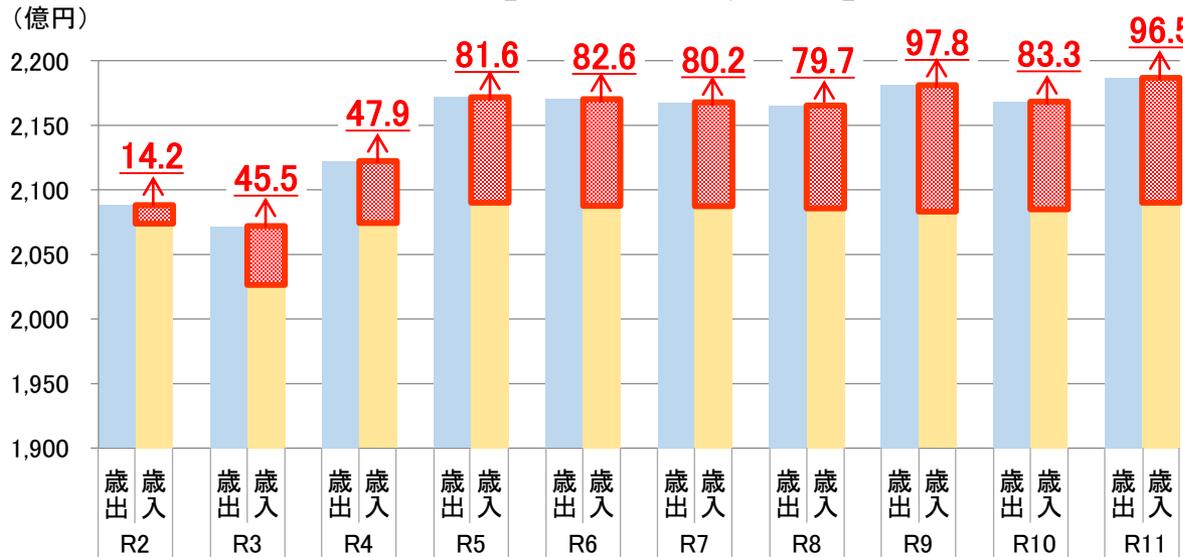
そのまま高水準で 推移していきます

今後の船橋市の家計 ③

将来の財政見通しでは

大きな赤字になる ことが見込まれます

【歳出・歳入の見込み】



毎年
多額の赤字
が発生

※この見込みには、
大規模な建設事業にかかる費用
は含まれていません。



このままでは、
貯金を取り崩していったとしても

財源が不足することが見込まれます

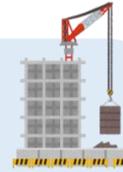
船橋市を取り巻くさまざまな課題

少子高齢化の進行による



市税収入の減少
社会保障経費の増加

施設の老朽化による



維持・更新費用の増大

近年の施設整備等による



市債（借金）の増加

それでも行政には市民生活に不可欠な道路の整備など



市民の皆さんに安心・安全を届ける責務があります！



これまでのやり方や考え方を
変えていくこと（＝行革）が必要！

船橋市の未来のために・・・

令和元年度・2年度の2年間を集中取組期間とする

「行財政改革推進プラン」

を策定

6つの柱

①

業務改善による
事務執行の効率化

②

民間活力の
活用

③

事業の見直し

④

普通建設事業の
見直しと公共施設
マネジメント

⑤

使用料等
の見直し

⑥

安定的な財政
運営のための
歳入確保

目標

将来



市民サービスの
維持・向上

【行政運営の効率化】

【財政の健全化】



特に  がついている項目は

市民の皆さんと一緒に 進めていきます

ご清聴ありがとうございました
パネルディスカッションに
移らせていただきます！

